

- 導通検査（断線、短絡、誤配線）
- 瞬間断線検査（ルーズコンタクト）
- 耐電圧検査
- 絶縁抵抗検査

省スペースで  
操作が簡単！！



AC90～250V電源で世界中どこでも使えます

## 主な特徴

- 1 印加電圧、遮断電流、絶縁抵抗値などの検査条件は、品名の呼び出し時に自動設定されます。
- 2 DC-ACインバータによる高電圧発生のため、商用電源の変動に左右されず安定した出力で検査出来ます。
- 3 記憶した回路データにもとずいてグループごとに高電圧を印加するため、検査時間が短く済みます。
- 4 導通・瞬断・耐電圧・絶縁抵抗検査機能が一体となったオールインワンでありながら省スペースタイプです。
- 5 片側コネクタ、相手側オープンのリード端子をサーチプローブで接触をとる、誤配線チェック（片端検査）機能があります。

### 導通検査について

導通検査には二つの目的があります。ひとつは、回路配線の基本である断線・誤配線不良を検査することです。二つめには、検査品が治具アダプタに確実に装着されていることの確認です。これは耐電圧・絶縁抵抗検査では検査品が装着されていない場合でも検査判定が合格となり検査の意味をもたないからです。そのため導通検査は耐電圧・絶縁抵抗検査の前後に必要です。

### 瞬間断線検査について

通常の導通検査では一見正常なケーブルでも、振動や衝撃を与えたり、屈折や引張などで断線が発生する場合があります。このような一瞬の断線を検出するための検査が必要です。

### 耐電圧検査について

多芯ケーブルなどの異極線間に高電圧を印加して、放電が発生しないかを検査します。耐電圧不良は圧接加工部の線間、コネクタピン間、半田加工部のピン間、シールド加工部のシールド線間とコア線間で特に発生します。

### 絶縁抵抗検査について

線間の抵抗が、品質保証条件の設定値以上であるかを検査します。絶縁抵抗は、半田フラックスなどの不純物、絶縁体の材質、湿度などで大きく左右されます。絶縁不良は、耐圧不良箇所以外にモールド加工の材質、コネクタ外部の汚れなどでも発生します。

### NHC-1240W 検査の流れ

セット

スタート ON

導通検査

瞬間断線検査

耐電圧検査

絶縁抵抗検査

導通検査

判定

抜き取り

終了

### 仕様

ポイント容量	24p (A12-B12) A側：入出力 B側：入力のみ 高電圧検査はA側から電圧印加
導通検査	判定 導通：100Ω以下 断線：500Ω以上 電圧/電流 DC5V/9mA 検査方式 A側対B側 (A側対A側も可) データ A側対A側のみ可
瞬間断線検査	検出パルス 1.1μSec (マイクロ秒)
耐電圧検査	検査電圧 AC50~800V 50~400V (10V単位) 400~800 (20V単位) 遮断電流 0.5~5mA (0.5mA単位) 検査時間 0.1~99秒 (0.1秒単位)/1ステップ 印加方式 自動印加 (AUTO) 交互印加 (ALT) スキャン (SCAN)
耐電圧計精度	印加電圧 設定値の±5% (無負荷時) 遮断電流 設定値の±5% 出力波形 正弦波50Hz±5%
絶縁抵抗検査	検査電圧 DC50~250V (50V単位) DC300~500V (100V単位) 絶縁抵抗 50V時 2M~100MΩ 100~150V時 5M~500MΩ 200~500V時 20M~1000MΩ 検査時間 0.3~10秒 (0.1秒単位)/1ステップ 印加方式 自動印加 (AUTO) 交互印加 (ALT) スキャン (SCAN)
絶縁計精度	印加電圧 設定値の±5% (無負荷時) 絶縁抵抗 設定値の±5%
その他の機能	ポイントサーチ、片端検査、日常点検、自己診断
外部 I/O	入力 スタート、リセット (緊急停止) 出力 検査合格、検査不合格 高圧検査中、瞬間検査中
データ登録数	200品種 (本体メモリ)
消費電力	最大 42W
使用環境	温度 10~40℃ 湿度 70%以下
電源	AC90~250V 50/60Hz
外形寸法	260mm (W) × 305mm (D) × 160mm (H) コム足含まず
重量	4.6kg
付属品	検査用接続ケーブル、サーチロープ、フットスイッチ 日常点検用コネクタ、アース線、電源ケーブル
オプション	検査アダプタ、その他特殊仕様 (ハード、ソフト)



※このカタログの仕様は改良のため、予告無く変更することがあります。

**NEXT** CORPORATION  
株式会社 **ネクスト**

本社  
〒276-0029 千葉県八千代市村上南4-17-12  
TEL : 047-405-4055 FAX : 047-405-4056